

しずここ

ニュース

レター



静岡市

自殺対策推進センター

〒420-0846

静岡市葵区城東町24-1

静岡市保健所 精神保健福祉課内

TEL&FAX:054-209-7260

No.31

R6.8

配信

▽「しずここニュースレター」では、自殺対策や心の健康に関する事業に携わる方及び関係者の方々に対し、静岡市における自殺対策に関する情報を提供しています。ニュースレターに対する御意見・御要望等ありましたら、お気軽にお寄せください。

生きる!を支える 総合相談会

自殺の原因には、心身の健康問題のほか、経済生活問題や勤務問題など、様々な要因が絡み合っていると考えられています。

そこで静岡市では、複雑で困難な問題を抱えている人に対し、こころの専門家(カウンセラー)、法律問題の専門家(弁護士)、労働問題の専門家(社会保険労務士)が一堂に会し相談に応じる相談会を開催しています。(※相談無料)

事前予約制となっておりますので、

関心のある方は下記までお問合せください。



対象

静岡市内に在住または通勤通学している方

日時

原則、毎月第4水曜日 ※10月を除く

①18時30分～ ②19時30分～(各日2人まで)

会場

JR静岡駅ビルパルシェ7階(静岡市葵区黒金町)

問合せ
予約先

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会

☎ 054-254-5151(平日9時～16時30分)

9月は静岡市の自殺予防月間です

9月10日は世界自殺予防デーです。わが国では、自殺対策基本法により、毎年9月10～16日の1週間を自殺予防週間としています。これに合わせ静岡市では、9月を自殺予防月間とし、「生きる!を支える」をスローガンに、様々な取り組みを行います。

街頭キャンペーン

9月10日(火) 朝の通勤・通学の時間帯に合わせて、JR静岡駅にて普及啓発グッズを配布しながら自殺予防について呼びかける、「自殺予防街頭キャンペーン」を5年振りに行います。

普及啓発グッズ



自殺予防週間ポスターの掲示

啓発活動の一環として、厚生労働省作成の自殺予防週間ポスターを、区役所や図書館、生涯学習施設、駅舎などに掲示しています。近年増加傾向にある、子ども・若者に向けたデザインとなっています。

パネル展示&横断幕

各区役所1階フロアにて、「生きる!を支える」取組みの展示と、各区役所の外壁に横断幕・懸垂幕を掲示しています。

※令和6年9月30日(月)まで



心がもやもやしたり、ざわついたら、電話やSNSで気軽に相談できます。

相談窓口はこちら

まもろうよこころ

検索



静岡いのちの電話

電話相談ボランティアを募集します

応募期間 | 2024年11月1日(金) ~ 2025年2月10日(月)

かけがえのない「いのち」を尊重し、対話する電話相談ボランティア活動をしませんか？

【応募資格】

- ・年齢は20歳から概ね65歳まで(2025年4月1日現在)
- ・性別や学歴、資格、経験などは問いません
- ・静岡いのちの電話の活動と基本理念に賛同し、積極的に参加できる人
- ・1年6ヶ月の養成講座に参加できる人
(月2~3回、各3時間程度+宿泊研修2回 ※研修費が必要です)
- ・電話相談ボランティアとして無償奉仕できる人(交通費も自己負担)

【申込方法】

専用応募用紙を郵送または応募フォームにてご入力ください。



詳しくは、静岡いのちの電話ホームページをご覧ください。



【お問合せ先】

社会福祉法人
静岡いのちの電話 事務局
TEL : 054-272-4344
FAX : 054-255-1817

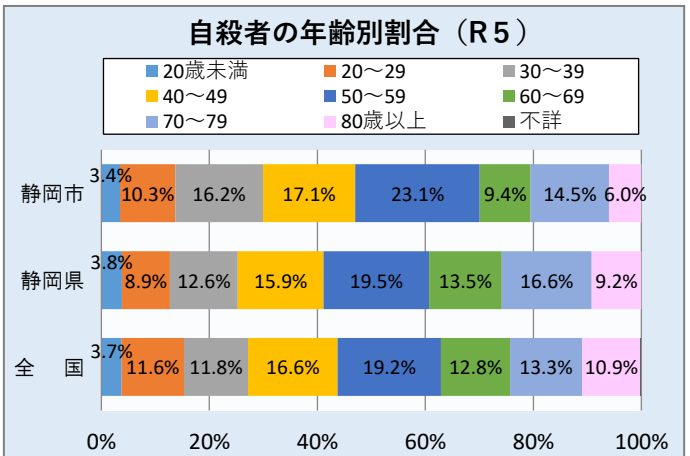
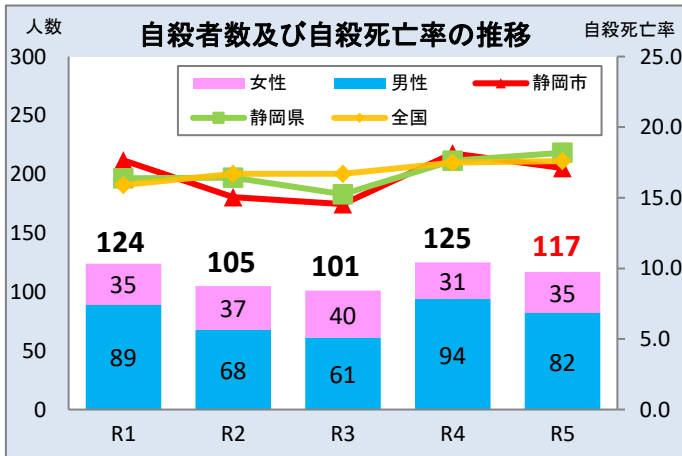
静岡市の自殺の状況

※厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より

令和5年(確定値)

令和5年の静岡市の自殺者数(確定値)は117人、自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)は17.1となり、前年の125人から8人減少しました。このうち、男性は82人(自殺死亡率24.6)、女性は35人(自殺死亡率10.0)となりました。前年と比べて、男性は減少したものの、女性の自殺者数は増加しました。

令和5年の自殺者の年齢別割合をみると、静岡市・静岡県・全国ともに50歳代の自殺者が最も多くなっています。また、30~40歳代の割合も高く、令和5年は働く世代の自殺者が多い傾向にありました。



令和6年1月~6月(暫定値)

静岡市の令和6年1月~6月の自殺者数(暫定値)は、36人(男性は22人・女性は14人/男女比6:4)、各月の平均自殺者数は6.0でした。

前年同時期(暫定値)の49人(男性は33人・女性は16人)と比較すると、13人減少しています。

6月時点では前年と比べて月毎に大きな変動は見られませんが、長期休み明けもあるため、今後の推移に注視していく必要があります。

